

## 中小企業景気動向調査

本調査は四半期ごとに実施しています

調査期間

2026年1～3月期

## 調査概況

- 調査目的 静岡県西部地域の中小企業の景気動向
- 調査対象 静岡県西部地域の中小企業658社
- 調査方法 調査票による面接聴取法  
(遠州信用金庫、浜松いわた信用金庫に委託)  
一般財団法人しんきん経済研究所が集計
- 調査内容 前回(25年10～12月期)と今回(26年1～3月期)との比較、  
今回と比較した次回(26年4～6月期)の予想
- 調査時期 2026年3月2日～6日
- 回収状況 回収数628社(回収率95.4%)

## 景気動向判断指数について

この調査では、景気判断の基準として、DI (Diffusion Index)による分析方法を採用している。これは各質問項目で「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を差し引いた数値を時系列で観察することにより景況を判断する方法である。

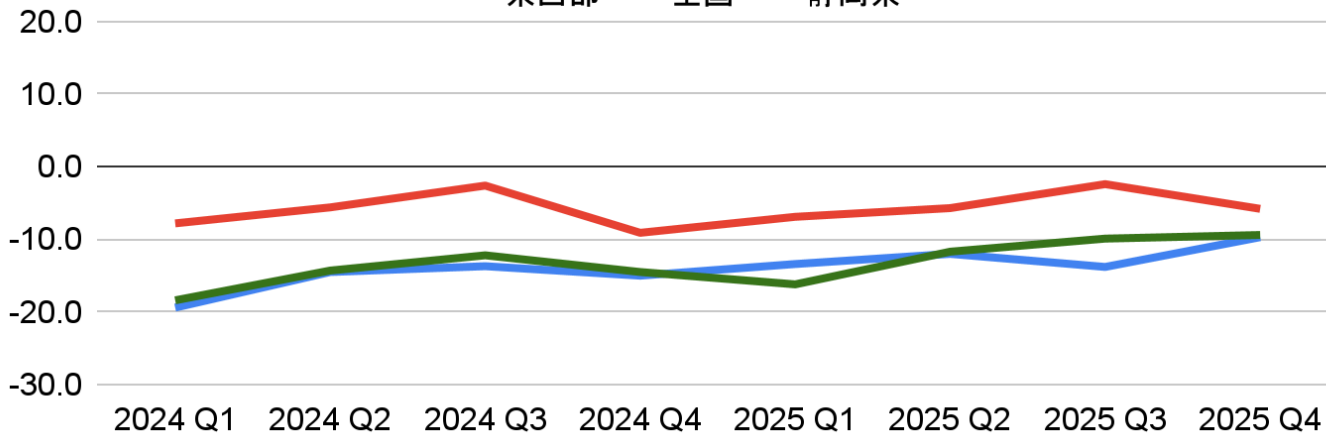
## 静岡県西部地域・業種別景況天気図

	全産業	自動車	二輪車	楽器	卸売	小売	建設	飲食、他
調査数	628	68	49	17	75	62	71	18
2026年 1～3月期								
2026年 4～6月期 予想								

\*この天気図は、主要判断指数を総合的に判断して作成したものです。

## 業況DIの推移(全業種ベース)

— 県西部 — 全国 — 静岡県



## 〈今回の景況〉

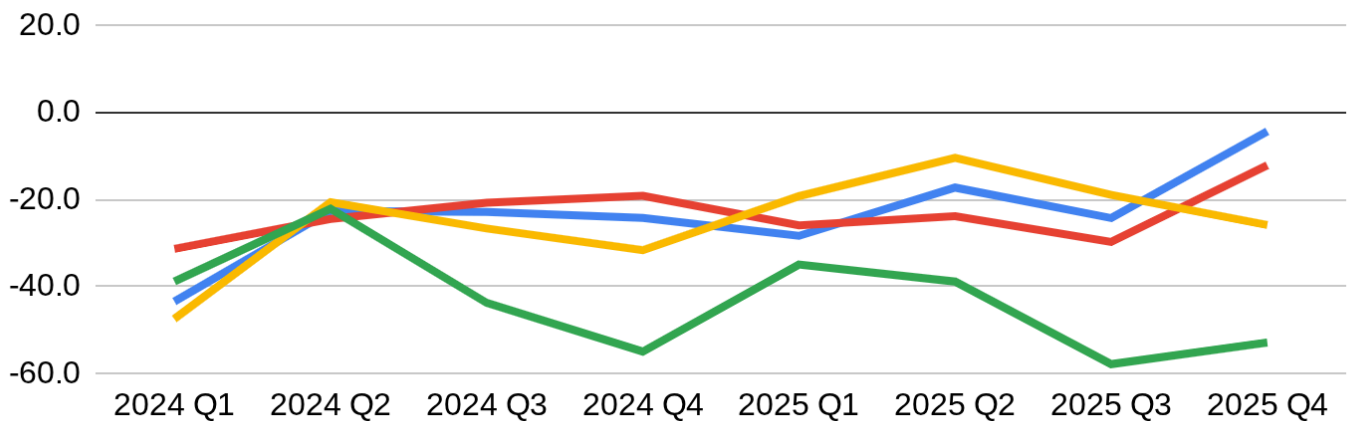
2026年1-3月期における静岡県西部地域の中小企業の景況感は、全産業ベースで-9.7となり、前回調査(-13.8)と比べて4.1ポイントの小幅改善となった。製造業は機械・繊維が悪化した一方で、自動車・二輪車・楽器が改善し、ウエイトの大きい自動車・二輪車が牽引したことで業況は回復した。非製造業では物価高や人件費の上昇の影響を受けて卸売・小売・建設が悪化した。全体として、高市政権が掲げる「積極財政・成長戦略」への期待感はあるものの、価格転嫁と人手不足への対応が課題となっている。

## 〈次回の景況予想〉

次回の景況予想は、全産業ベースで0.8ポイント悪化の-10.5とほぼ横ばいを見込んでいる。業種別では楽器は改善を見込み、自動車・小売・飲食宿泊レジャーは横ばい、卸売・建設は悪化すると予想している。今回調査の直前(2月28日)にアメリカとイスラエルによるイランへの軍事作戦が実行され、この「地政学リスク」の影響が、今回の回答に十分に織り込まれていない可能性がある。そのため、今後エネルギー価格の高騰や物流の混乱が顕在化する恐れがあり、予断を許さない状況が続くと予想している。

## 製造業における景況感 (DI値)

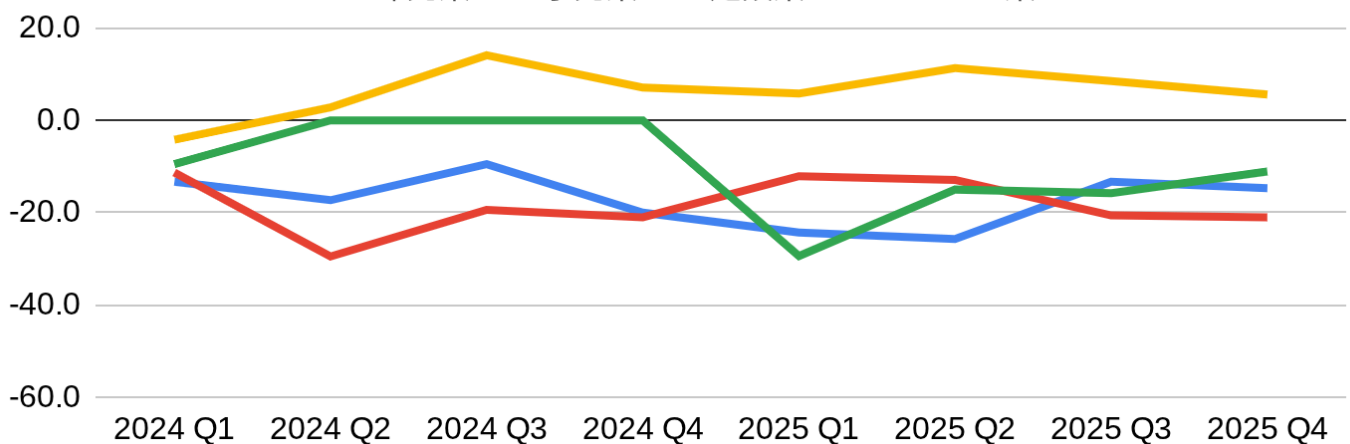
— 自動車 — 二輪車 — 機械 — 楽器



〈自動車〉	〈二輪車〉	〈機械〉	〈楽器〉
DI値は19.9ポイント改善の-4.4となり、2四半期ぶりに改善した。受注の回復や価格転嫁による利益率の改善などコメントが増えており、主要3項目(売上額・受注残・収益)がいずれも改善したことで、業況が改善したと推察される。	DI値は17.6ポイント改善の-12.2となり、2四半期ぶりに改善した。受注の好調や価格転嫁が進んでいるといったコメントが多数みられ、受注残の大幅改善を主因に業況の改善につながったと推察される。	DI値は6.9ポイント悪化の-25.9となり、2四半期連続で悪化した。好調な自動車や二輪車に比べて機械受注の回復には通常タイムラグが生じるので、業況の回復が遅れている一因と考えられる。次回の業況は改善を見込んでいる。	DI値は5.0ポイント改善の-52.9となり、3四半期ぶりに改善したが、依然として低水準で推移している。プラスのコメントは少なく、主要取引先の減産により受注が減少しているなどのコメントが複数みられた。

## 非製造業における景況感 (DI値)

— 卸売業 — 小売業 — 建設業 — サービス業



〈卸売業〉	〈小売業〉	〈建設業〉	〈飲食宿泊レジャー等〉
DI値は1.4ポイント小幅悪化の-14.7となった。同業他社との価格競争が激しく、収益を圧迫しているとのコメントが複数みられた。売上額や収益が悪化し、業況も小幅悪化したものと推察される。	DI値は0.4ポイント悪化の-21.0と、ほぼ横ばいとなった。事業拡大等により売上増加している先がある一方で、物価の高騰や人件費の増加により利幅が縮小しているなど、業況が良い企業と悪い企業の二極化が進んでいることが推察される。	DI値は2.9ポイント小幅悪化の5.6となったが、7四半期連続でプラス水準を維持している。現場の人手不足により工事受注できないといったジレンマや、材料価格の更なる高騰への対応に苦慮している状況がうかがわれる。	DI値は4.7ポイント小幅改善の-11.1となった。飲食では、材料価格は上昇しているが、販売価格に転嫁できているとのコメントが複数みられた。宿泊では、日中関係の悪化から、中国の団体客の減少がみられ、宿泊稼働率も低迷している。